

T.A ULTRAGUIZ  
**CROSS REVIEW**  
第6回～第11回  
クロスレビュー  
2015.11 執筆

ねおかず



ウルトラファンサイト管理人  
ウルトラの美術セット好き

コアタイム



テレビマンユニオンをこよなく  
愛す、ウルトラしまんちゅ

いけがわ



マンガ研究家。ウルトラクイズ  
はストーリー性やバックボーン  
を重視した視聴スタイル

テーブル



Yaneurabeya と言えばやっぱり  
テーブル。各大会のテーブルを  
“ねおかず”がレビュー。

**史上最大！第6回  
アメリカ横断ウルトラクイズ**

1982年  
10月7日/14日  
/21日/28日放送

参加者  
7332人

優勝賞品 視聴率  
超短期間世界一周の旅 27.2%

**史上最大！第7回  
アメリカ横断ウルトラクイズ**

1983年  
10月20日/27日  
11月3日/10日  
放送

参加者  
10203人

優勝賞品 視聴率  
カナダ産ログハウス用の丸太 34.5%

**史上最大！第8回  
アメリカ横断ウルトラクイズ**

1984年  
10月11日/18日  
25日/11月1日  
放送

参加者  
11408人

優勝賞品 視聴率  
組み立て式クラシックカー 23.1%

**史上最大！第9回  
アメリカ横断ウルトラクイズ**

1985年  
10月24日/31日  
11月7日/14日  
放送

参加者  
11754人

優勝賞品 視聴率  
潜水艦（要酸素ボンベ） 22.2%

**史上最大！第10回  
アメリカ横断ウルトラクイズ**

1986年  
10月30日  
11月6日/13日  
/20日放送

参加者  
17162人

優勝賞品 視聴率  
熱気球（南米直行？） 26.8%

**史上最大！第11回  
アメリカ横断ウルトラクイズ**

1987年  
11月5日/12日  
/19日/26日  
放送

参加者  
18017人

優勝賞品 視聴率  
満潮になると沈む島 20.4%

「福留 VS 挑戦者の構図」がほぼ  
確立されたウルトラらしい大会。  
そして「効果音革命」が起きた  
日本クイズ番組史に残る重要な  
大会。ボタン押し、正解、不正  
解時の効果音が電子音となり、  
改良を重ねながら今でも様々な  
クイズシーンで使用されている。  
もはや文化遺産レベルである。

ウルトラクイズ殺人事件や双子  
神経衰弱、ケンタッキーダービー  
など、クイズに工夫を感じている  
第6回。第5回に比べるとキャラ  
の印象は薄い視聴者はタイ系  
美人・今井さんを応援か。クイズ  
の実力は高木さんが一番の様  
に見えたが、決勝はトドさんが  
制す。優勝賞品とスタジオ結婚  
式イブね。

多くのアクシデントに見舞われ  
ルートも短い第6回。全体的に  
工夫は見られるものの若干空回  
り感も。優勝賞品の世界一周も  
もっと活かされたはず。ニューオ  
リンズはトメさんが映っていない  
だけでなく、初の人物当て形式  
もありカメラが全体的に不安定  
。スタッフの動揺が伺える。

「？」マークの白の縁取りが施され  
た事となり、早押し時の音が一新された  
のを受け、ウルトラクイズの様式美  
が一気に洗練された印象に様変わり  
したのは大きい。今大会独自のテーブル配置  
の面白い部分を挙げれば、ダラスの「宅  
急便早押しクイズ」。移動するトラック内で3  
列配置を行っている。

この大会は異質だ。その象徴が、  
早押しクイズ時、挑戦者は立ち  
状態且つ「テーブルの両脇を持っ  
た状態で問題を聞く」というもの  
だ。結果としてボタン押しアク  
ションが大きくなり、絵的に  
見栄えが増したが、その後採用  
されなかったのは、何か足りな  
かったということだろう。

岩瀬さんが超元気！挑戦者の面  
子がイイ感じで揃った回。ロサ  
ンゼルの挑戦者登場シーンは  
皆晴れやかな表情が◎！クイズ  
ヨットスクール&罰ゲーム、セ  
ントRのジョギングマシンには  
爆笑。オルバーニーでの金時真代  
ちゃんとの別れ、そしてエンデ  
ィングの留さんのナレーションに  
心打たれる名作。

「ヨットスクール」あたりからト  
メさんの地の部分が出始める。  
高視聴率回だがこの回だけのキ  
ノボタン制以外特筆すべき点  
が乏しい。テレビがカジュアル  
に世界を映す時代、「HOW マッ  
チ」も別時間帯でスタート。第  
8回以降はゴールデン昇格した  
「HOW マッチ」との戦い。

司会者にも専用テーブルが使用され  
たようになり、福留氏の威厳度↑。  
この大会独自仕様として、テー  
ブル両サイドに手を置く部分が拡張され、  
早押しボタンが大きい  
の「キノコ型」になり、  
テーブルの中央に配置  
された。立ち状態での  
クイズが多いが、「はか  
ま」はあまり使用され  
ない。やはり異質だ。

「大声」「マラソン」「海底早押し」  
等、クイズの産業革命が起こり、  
今後のウルトラの方向性が見え  
た状態で問題を聞く」というもの  
だ。結果としてボタン押しアク  
ションが大きくなり、絵的に  
見栄えが増したが、その後採用  
されなかったのは、何か足りな  
かったということだろう。

道篤氏 orz はさておき、グアム  
の敗者たらいまわしクイズに大  
声クイズ、ジョギングクイズ等、  
インパクトが強いクイズ形式が  
揃う。中でも海底早押しクイズ！  
スーツケースも海底！「自分の  
汗を蒸留して水を作る」「北北  
西に進路」等、名作罰ゲームも。  
古賀ママにはもっと先へ行って  
欲しかったなあ。

若者が多く、垢抜けた感のある  
第8回。大声・マラソンと第2  
期定番クイズが産まれたのも大  
きい。視聴者の度肝を抜く海底  
クイズの説明で「泳げないなん  
て非国民」「酸素？アラ要ります  
ね」と石川アナ絶好調。トメさ  
んも「ザ・ガマン」はこの番組が  
生まれた番組です！

今大会でデザインがまとまり、以後  
最後の大会まで同じデザインが使用  
された。「？」マークの周囲に、☆マ  
ークが囲み、一気にデザインが引き締  
まった。テーブル色も  
紺色から強めの青色に  
なり、明るく印象に  
変わった。立ち状態と設置  
された海中で平然と設置  
されるなど、テーブル  
の耐久性や汎用性にも  
驚かされる。

決勝を「パリ」に設定したためか、  
これまでのウルトラの常識を打  
ち破る内容。結果として、「運」  
の比重が高まり、番狂わせがと  
ても多し。チェックポイント  
数も多く、豪華爛漫。若い参加  
者が多いが個性的なメンツで人  
間味あふれる大会となっている。  
優勝者もその両親も超個性的。

NYを超えてパリ決勝！ロング  
ルート紹介は何度見てもイ  
成田では第3次予選にヤラレタ。  
NYのマラソンもいいけど、ロン  
ドンの迷路パラマキに当時心と  
きめた。堀さんの潜水艦見た  
かったなあ。そして当時応援し  
ていたスーツ姿の伊澤さん。  
ドーバーが通せんぼだったらパ  
リへ行けたかも！

第9回は「運の回」。後楽園の敗  
者復活からドーバー横断まで、  
徹底した運要素にもかかわらず  
早押し問題も多い。良問が多く  
第9回の本は一般向けのクイズ  
大会で重宝する。バラエティー  
色も強く、2時間で5CP消化と  
いうベストな構成で楽しくよく  
まとまっている点を高評価。

とにかく「バラエティ豊か」なのだ。  
成田空港での敗者復活戦では「敗  
者」「復」「活」「戦」の文字をあしらっ  
た特性バージョン。ヨセミテ大声メ  
ーター、アトランティックシティの  
トランプカード設置、極めつけはフ  
ランス国旗色仕様  
テーブルを決勝の  
ために使用するな  
ど、テーブル対  
する愛情が強い。

全てがカッコいい。コース終盤  
を秘密にし、南北2ルートに分  
けた驚きの展開。決勝の二人が  
NYで顔を合わせるシーンはクイズ  
番組の域を超え、ドラマも  
超え、ドキュメンタリーとして  
最高峰。挑戦者も個性溢れ、表  
情も美しく、クイズレベルも高  
い。これこそ歴代NO.1だろう。

巨大雲が晴れ二股ルートに！度  
肝。成田〇×機（贅沢！）、団  
体綱引き、念力、砂時計とアイ  
デアも多彩。チチカカ湖の大道  
さん「成田でありがとうな」も  
グッと来る。決勝戦では巖流島  
の戦いを匂わせ、あえて森田さ  
んを後ろから登場させる演出が  
堪らない。第24回ギャラクシー  
賞特別賞。白井審査委員長、優  
秀の美を飾る。

第10回は「体力の回」。後楽園  
のぶらさがり復活、腕相撲、綱  
引き、マラソンからバラマキま  
で体力系クイズ3連発など、過  
酷な南米コースを見据えて選抜  
される厳しい戦い。分岐の隠し  
ルートが明らかになったときの衝  
撃は忘れられない。ウルトラで  
は珍しい決勝の名勝負も良。

国内第1次予選でのMCテーブルデ  
ザイン変更。過去最大の設置数を誇っ  
たシアトルでの22台は匠巻の一言  
だが、あまりに多すぎた為か、新た  
に作成されたテーブルは素材や側面  
の形が従来物と異なるもので、「デザ  
インの一貫性」が弱い。チチカカ湖  
ではトローラ（小  
舟）に司会者テー  
ブルを設置して  
いる。

国内予選がこれまでにないくら  
いに手間暇をかけており、「新た  
なウルトラ」をやりたいという  
スタッフ側の思いが伝わる。本  
土上陸後のクイズも新機軸の  
ものが多い。や地味な印象が拭  
えないのは、前大会があまりに  
も素晴らしかったためだろうか。  
若い挑戦者が多い事も要因か。

この回で敗者の味方の役目を終  
える徳光さん。名古屋ミニトラ  
は置き土産？ COM 予想泣かせ  
の温井さん、打倒西武！宇田川  
さんの罰ゲーム、謎の男・ミス  
ターXの演出や松尾さんの登場  
シーンが好いだった。優勝賞品  
のオチはウルトラ歴代NO.1。  
パチンコ島が今も稲川さんの所  
有物だそうで素敵です。

準決勝の伏線となる後楽園のエ  
キシビジョン、クイズ神社や「徳  
光さん引退興業」の名古屋ミニ  
トラなど第一週の仕掛けが楽し  
い。定番クイズを前倒して後半  
に意欲的な形式を持つてくる  
大胆な構成。また全体的にイン  
パクトのある「絵」が多く、と  
ても印象に残る回だ。

全体を通してあまりテーブルが使  
われない大会ではあるが、見る  
べき所は多い。唯一、国内第2次予  
選でテーブルが使用された物は「ソ  
レノイド早押し表示」が  
テーブルに固定された  
レオモーション。準決勝  
ニュージャージーで  
は、松尾さんだけのた  
めに赤色のテーブル+  
はかまが使用された。

殿堂行き...3人のレビューの合計点数が27点以上になると「殿堂行き」としてファンの間で語られる